



「令和6年度のスタートにあたって」

校長 久富正規

4月は、新しい環境での生活がスタートする時なので希望と期待が交錯する時でもあります。今年度も4月8日には、着任式、始業式、9日には、第12回入学式を挙行し、24名の1年生を迎え、2年生21名、3年生17名を合わせ62名で教育活動をスタートしました。令和6年度は、学校、事務を合わせ教職員41名で更なる教育活動の充実・推進に向けて取り組んでまいります。生徒一人一人の成長と本校の教育実践が確かに生徒の社会自立につながるものになるよう、保護者の皆様をはじめ地域の皆様の御理解と御支援、御協力をお願いいたします。

今号は、新年度の始まりの号ですので、令和6年度の方針などを次のページに紹介いたします。



地域に根ざした学校づくり

教頭 池田英司

4月から24名の1年生を迎え、全校生徒62名で令和6年度が始まりました。1年生の皆さんは、期待と不安の入り交じった気持ちでのスタート。2・3年生は、進級した喜びと次の目標に向けた決意をもって4月をスタートしたのではないのでしょうか。12年目を迎える千歳高等支援学校も地域における役割を今まで以上に果たせるよう取り組んでいきます。学校運営協議会委員を増やし、地域の方との連携を更に深め、また、本校におけるPTA活動の充実も行っておりますので、引き続き保護者等の皆様の御理解と御協力をいただきながら教育活動を進めてまいります。

今年は、4年に1度のオリンピックが開催される年です。開催される場所は、フランスのパリで行われます。また、オリンピック終了後には、パラリンピックも開催されます。私自身身体を動かすことも好きですが、スポーツを観戦することも大好きです。オリンピックでは32競技/329種目が17日間で行われます。パラリンピックは、22競技が12日間で行われます。学校でもいろいろな運動に取り組んでいますが、一流の選手の素晴らしい姿を見て、感動や興味を持ってほしいと思います。5月には、本校でもマラソン大会があります。それぞれが目標を決め、それに向かって頑張る姿は本当に素晴らしいと思います。今年1年、いろいろなことに挑戦し、それぞれの目標に向かって頑張ってください。私自身も皆さんの力になれるように頑張りたいと思います。一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。



高校生活を送るために

第1学年主任 教諭 雫石忠司

新入生の皆さん、保護者の皆様、御入学おめでとうございます。本校へ入学するにあたり、期待や不安をいっぱい感じていたかと思いますが、元気よく挨拶をする姿、学級や学年の仲間と楽しく会話をしている様子を見て、大変に立派だと感じています。

高等部では、3年間で社会人になる準備をしていきます。3年後、24名全員が笑顔で社会へと出られるように、充実した高校生活にしてもらいたいと思います。そのためにも、具体的な目標を立て、1日1日大切に高校生活を送ってください。教職員一同、皆さんのお手伝いができればと思います。1年間、どうぞよろしくお願いします。

令和6年度(2024年度)北海道千歳高等支援学校学校経営方針 グランドデザイン版

職業学科を設置する道立知的障がい特別支援学校高等部のミッション:卒業後の職業自立(就職)に必要な専門的な知識や技能を習得すること

学校教育目標	『志を持って社会を創る人間の育成』	※平成25年4月制定
校訓	「挑戦Challenge 創造Creation 協働Collaboration」	

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領
- 北海道総合教育大綱
- 北海道教育推進計画
- 石狩管内教育推進の重点
- 特別支援支援教育に関する基本方針

令和5年度にできたこと・できなかったこと (年度末反省・学校評価から)

目指す学校像	目指す生徒像	目指す教職員像
<ul style="list-style-type: none"> 生徒にとって「学ぶ喜びが分かり、自分の成長を確かめられる」学校 保護者にとって「安心して子供を任せ、願いが確かな成長として伝わる」学校 教職員にとって「生徒の成長を共有し、職務に生き甲斐と誇りを持って」学校 地域社会にとって「教育活動がよく見え、信頼され頼りにされる」学校 	<ul style="list-style-type: none"> 自分をより良くするため、挑戦する意欲と前向きな気持ちを持つ人 自己を理解し、将来の生活に向けた選択や決定を通して、志を持ち自己実現を目指す人 創造的な心と健全な体を持つ人 他者と協働し、感謝の気持ちと謝罪の気持ちを素直に言える人、言われる人 自己を律しながら、地域で生活できる人 	<ul style="list-style-type: none"> 教育者として、強い使命感・倫理観と、生徒への深い教育的愛情を常に持ち続ける教員 教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に、主体的に取り組む教員 学校づくりを担う一員として地域等と連携・協力しながら、課題に取り組む教員

教育方針
<ol style="list-style-type: none"> 本校や地域の実態及び時代の変化を踏まえた、特色ある教育課程の計画的、組織的な編成・実施及び評価を推進する。 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善と評価改善に取り組む。 多様化する生徒の実態及び複雑化する問題要因を踏まえた組織的・機能的な生徒指導を実践する。 自立を見据えたキャリア教育と生徒が主体的に進路選択できる進路指導を推進する。 社会的な事象を踏まえた防災・安全教育及び体育・健康に関する指導を推進する。

経営方針
<ol style="list-style-type: none"> 教職員の情報共有と信頼・協力関係を基盤に、チームとして学校経営に積極的に参画する意識を高め、教育活動と経営活動が一体化した無理、無駄のない組織運営を推進する。 教職員の実践的指導力、専門性の向上と学校力の向上及び教育課程の充実を図るため、組織的な実践研究・研修を実施する。 生徒の生命・健康・人権を守るための予防的な対応による学校の危機管理能力の向上を図る取組を推進する。 生徒一人一人が学びやすく、生活しやすい環境・条件整備を図る。 教職員の働き方を改善し、協働性、同僚性を発揮することができる職場環境・条件整備を図る。 学校予算、団体会計、私費会計等の緊急性、必要性、優先性に基づいた計画的、効果的な執行と適正な事務処理を実施する。 教育公務員としての自覚に基づいた服務規律の遵守を徹底する。

「保護者・地域」協働の方針
<ol style="list-style-type: none"> 「学校運営協議会」(コミュニティ・スクール)の効果的な運営体制と地域協働のための基盤整備を図る。 特別支援教育のセンター的な役割を果たすとともに、地域、関係機関等と連携、協力して、千歳・恵庭圏域の特別支援教育の充実・発展を図る。 生徒指導上の問題について、保護者・関係機関等と連携し解決するための協力関係を強化する。 PTA・地域等と連携した危機管理対応の仕組みを構築する。

- 令和6年度の重点
- 学力向上のための「千歳高等支援の学び」となる教育課程の改訂・実施・検証
 - いじめや生徒指導事故等の予防的観点から考え実施する生徒指導

重点に取り組むための考え方

「学力向上のための効果的な教育課程の実施・検証」
「何をどう教えるのかを明確にするシラバスに基づいた授業づくり」
「作業学習、各実習と関連付けた働く力の明確化」
「人権教育、道徳教育、性に関わる教育、健康教育、主権者教育、防災教育等の教育課程上の位置づけの明確化」
「各セクトの連携による情報共有、課題解決」
「教職員の服装、言語環境を含む教育環境の整備」

「生徒指導事故の未然防止につながる教育課程」
「いじめの未然防止又は、早期発見、早期解決のための生徒の行動把握と相談体制の強化」
「組織的対応を可能にする情報等の共有」
「より効果的なタイミングで指導・支援ができる生徒指導事故対応」
「生徒理解のための校内及び校外研修の活用」

指導の重点
<ol style="list-style-type: none"> 教育課程に基づいた学習指導の実施と指導内容の精選 ICTを効果的に活用した授業と学力の向上の成果と課題の検証 地域の資源を活用した体験的学習及び実践的、社会貢献的学習の実施 SNSに関する生徒間トラブル、不登校など、生徒指導上の問題に対する協働体制の構築と開発的・予防的・個別のアプローチの実施

経営の重点
ア 「教育課程」・「授業(評価)」の理解及び専門性向上に向けた全教職員の研修・研究活動の実施 イ 生徒に向き合う時間確保の観点による働き方改革の具体的な取組

「保護者・地域」協働の重点
ア 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の効果的な運営の推進 イ PTA(保護者)と学校課題の共有と解決策の検討の実施 ウ 千歳高等支援学校をアピールできる教育活動、部活動等の推進 エ ホームページ、学校便り、校内掲示等による情報発信・内容の充実

研究主題 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり」(案)
 ～資質・能力の三つの柱に基づく授業実践と学習評価の取り組み～

各セクトで「重点実践事項」の作成・実施・評価・改善(PDCAを意識した実践)

◇校長:校務全体に関する責任・権限 ◇教頭:「職員室」経営 ◇事務長:「学校事務経営」統括
 =生徒が安心して、安全に学習・生活できる「環境・条件整備」/教職員が働きやすく、個々の職能が発揮できる「環境・条件整備」=

教務部門
◆「学科」経営(2学科) ◆「学年」経営(3学年) ◆「分掌」経営(3分掌) ◆「教育課程」経営・「教科等」経営 ◆「学級」経営(9学級)

教職員の学校経営への積極的な参画
 教職員個々のマネジメント力・専門性・実践的指導力・同僚性・協働性の発揮

事務部門
◆「学校事務」経営



着任者紹介



教諭 中村 裕一

北海道伊達高等養護学校からまいりました。8年ぶりの異動を受け「新生活」というのが公私共に本当に大変だということを出し、新入生や新社会人になる生徒たちも同じように不安でいっぱいなんだということに改めて感じながら、千歳での生活をスタートさせました。

まずは一つずつ着実に仕事を進めていくことを目標に、日々の生徒たちとの関わりを大切に過ごしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



教諭 鎌仲 咲樹

鎌仲咲樹といいます。開校からこの学校で勤務していますが、昨年までの2年間、札幌大谷大学で勉強していました。生徒が何事にもがんばる姿を見て、自分ももう一度、勉強したいと思い、大学に行くことを決意しました。働きながらの受験は確かに大変でしたが、専門である「音楽」を2年間、たくさん勉強してきましたので、生徒のみなさんにも還元していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



教諭 向 かおり

南幌養護学校から来ました、向かおりと申します。

千歳高等支援学校の第一印象は、「校舎が、すみずみまでとてもきれい！」でした。これまで過ごされてきた皆さんの、学校を大切にする思いを感じ、あたたかな気持ちになりました。

新しい学校での生活に、まだドキドキしていますが、元気にがんばる生徒の皆さんに出会えてうれしいです。これから一緒に学びあっていけるよう、頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



教諭 増永 真衣

着任して早々、3年生から「校外での学習のときに使ってください」と、特設実習で作ったという靴袋をいただきました。新しい先生に話しかけることは緊張したと思いますが、話しかけてもらえたおかげで私の緊張はほぐれ、千歳での1年間に期待がふくらみました。元気な挨拶や笑い声、作業学習での真剣な眼差しが印象的な生徒たちと共に学び、成長できるよう努めます。よろしくお願いいたします。



実習助手 片岡 美智代

今年から赴任しました、片岡美智代です。環境・流通サポート科のみなさんと一緒に実習をします。以前は家庭科の調理実習や被服実習でミシンを使う作業などを主に担当していましたので、清掃・製本は初めて担当します。1年生のみなさんとは一緒に、2、3年生のみなさんには早く追いつけるようになりたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



実習助手 井上 佳枝

北海道登別青嶺高等学校より赴任いたしました、実習助手の井上佳枝と申します。読書と書道が趣味です。3人の小さい子供がいます。

千歳高等支援学校では、生産技術科の作業学習をお手伝いいたします。もの作りが好きなので、生徒のみなさんと一緒に木工、革工、紙工作業ができることに大変わくわくしています。私自身初めてのことばかりですが、様々な製品作りを通して、一緒に成長していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



1学期の主な学校行事

5月 8日 (水)	第1回避難訓練	6月 5日 (水)	第1学年 職場・福祉事業所見学
5月 9日 (木)	5時間授業	6月 6日 (木)	5時間授業
5月14日 (火)	第3学年見学旅行～17	6月15日 (土)	開校記念日
5月23日 (木)	前期生徒総会	7月 3日 (水)	第1学年宿泊研修～5
5月28日 (火)	5時間授業 マラソン大会	7月18日 (木)	全校交流会
5月29日 (水)	マラソン大会予備日	7月26日 (金)	第1学期終業式 学年懇談・進路ガイダンス
5月30日 (木)	第3学年 職業講話	※6月 第3学年 重度判定	
6月 3日 (月)	第2学年第1回現場実習～14	※7月 第2学年 GH、HW相談事業所見学	

※本校では日々の活動の様子をホームページ<<http://www.chitosekoushi.hokkaido-c.ed.jp>>に掲載しています。右のQRコードからアクセスし、「千高支日記」をご覧ください。



令和6年度 4月の様子



4月9日 (火) 入学式

令和6年度は24名の入学生が本校に入学しました。



4月17日 (水) 新入生歓迎会

新入生歓迎会では、生徒会のクイズや各学年からの出し物、同好会の紹介、新入生の自己紹介等が行われ、楽しい雰囲気に包まれました。

